

雨の玉川心中

遺書

太宰治・山崎富栄

青空文庫

私ばかりしあわせな死に方をしてすみません。奥名とすこし長い生活ができて、愛情でもふえてきましたらこんな結果ともならずにすんだかもわかりません。山崎の姓に返ってから死にたいと願っていました……。骨は本当は太宰さんのお隣りにでも入れて頂ければ本望なのですけれど、それは余りにも虫のよい願いだと知っております。太宰さんと初めてお目もじしたとき他に二、三人のお友達と御一緒にいらつしやいましたが、お話を伺っておりますときに私の心にピンピン触れるものがありました。奥名以上の愛情を感じてしまいました。御家庭を持っていらつしやるお方で私も考えましたけれど、女として生き女として死にとうござ

います。あの世へ行ったら太宰さんの御両親様にも御あいさつしてきつと信じて頂くつもりです。愛して愛して治さんを幸せにしてみせます。

せめてもう一、二年生きていようと思ったのですが、妻は夫と共にどこ迄も歩みとうございませぬもの。ただ御両親のお悲しみと今後が気掛りです。

(注・この遺書は昭和二十二年八月二十九日付となっている)

鶴巻夫妻宛太宰と富栄連名の遺書

永いあいだ、いろいろと身近く親切にして下さいました。忘れません。おやじにも世話になった。おまえたち夫婦は、商売をはなれて僕たちにつくして下さい。お金のことは石井に太宰 治 泣いたり笑ったり、みんな御存知のこと、未までおふたりとも御身大切に、あとのこと御ねがいたします。誰もおねがい申し上げるかたがございません。あちらこちらから、いろいろなおひとが、みえると思いますが、いつものように、おとりなし下さいまし。

このあいだ、拝借しました着物、まだ水洗いもしてございませ
んの。おゆるし下さいまし、着物と共にありますお薬は、胸の病
いによいもので、石井さんから太宰さんがお求めになりましたも
の、御使用下さいませ。田舎から父母が上京いたしましたら、ど
うぞ、よろしくおはなし下さいませ。勝手な願いごと、おゆるし
下さいませ。

昭和二十三年六月十三日

富栄

追伸

お部屋に重要なもの、置いてございます。おじさま、奥様、お
開けになって、野川さんと御相談下さいまして、暫くのあいだお

あずかり下さいまし。それから、父と、姉に、それから、お友達に（ウナ電）お知らせ下さいまし。

父 滋賀県神崎郡八日市町二四四 山崎晴弘

姉 神奈川県鎌倉市長谷通り二五六

マ・ソアール美容院 山崎つた

友達

本郷区森川町九〇 加藤郁子

淀橋区戸塚町一ノ四〇四 宮崎晴子

青空文庫情報

底本：「雨の玉川心中」真善美研究所

1977（昭和52）年6月13日初版発行

※表題、副題は、底本編集時に与えられたものです。

※底本巻末の編者による注記は省略しました。

※（注・）ではじまる注記は編集部によるものです。

※底本巻末の編者による語注は省略しました。

入力：江村秀之

校正：酒井和郎

2017年4月3日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

雨の玉川心中

遺書

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

著者 太宰治・山崎富栄

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>